



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と  
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

## 東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、  
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第13号

2023年12月25日

編集 緒方 なな  
東浦町教育委員会  
SPコーディネーター

### SPさん同士で。シニアSPとも。

12月25日（月）、「2023冬休みわくわく算数教室」の2日目です。天気は快晴。気持ちの良い朝でした。この日は電車が遅延し、来校するのが大変なSPさんもいました。それでも、バスや電車を乗り継いで来てくれました。こうして子どもたちのためにと来てくれるSPさんのおかげで「わくわく算数教室」が開催できています。本当にありがとうございます。

近年、大学は12月28日前後まで講義があるようです。そのため、今日も子どもたちの人数に対してSPさんの人数が少なめで、3対1（子ども3人に対し、SPさん1人）の指導が多くなりました。3対1、どうでしょうか。大変と思うSPさんも多いのではないかと思います。その大変さや苦勞したこと、どうやって対応していたかなど、ぜひSPさん同士で話してみてください。新たな気づきや引き出しを得られると思います。特に、東浦に来てくれるSPさんは、熱意に溢れ、子どもたちに真剣に向き合ってくれるSPさんが本当に多いです。こんな“熱い仲間”との出会いがある「わくわく算数教室」。情報交換には絶好のチャンスです！



「わくわく算数教室」には、毎年シニアSP（卒業生）も来てくれます。今日は、2名のシニアSPが来てくれました。片葩小の先生も来ていただきました。やはり、現場の先生は一味も二味も違います。タイミング・トーン・間・位置取り・言葉選び等々……たくさんのテクニックがあります。現場に出なければ分からないこともたくさんあります。同じ「わくわく算数教室」を経験したシニアSPとの出会いも一期一会。普段現場の先生とゆっくり話ができる機会もそうそうありませんから、ぜひ話しかけてみてください。シニアSPは、後輩に伝えたいこともたくさん！きっと話してみるとSPの経験と現場の経験との両方の視点から話をしてくれるはずですよ。



算数教室後、SP控室ではシニアSP同士でも話をしていました。「通信って書くのが普通ですか？どのくらい書いていますか？」片葩小でできた縦のつながりは、卒業してからも生きています。それを聞いたSPさんも、「現場に出るとこんなことがあるのだ」と学べると思います。現役SPと現役SP、シニアSPと現役SP、そしてシニアSPとシニアSP、縦と横のつながりがこのSP活動の醍醐味であり質の高さにもつながっています。

とことん寄り添ってくれる、笑顔で目を合わせて話を聞いてくれる、そんなSPさんたちが

子どもたちは大好き！SPさんの豊かな表情も最高です。

